

私有地等における放射線量低減マニュアル

平成24年1月 和光市

和光市では、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故後、市内における放射線量の状況を把握、監視するために、小中学校・保育園・公園・幼稚園等の空間放射線量を測定し、その結果を公表してきました。

また、子どもを対象とした公共施設内の、局所的に放射線量が高い箇所（いわゆるホットスポット）に対応するため、除染に関する基準値（0.19 マイクロシーベルト/時間）と対応方針を定め、小中学校、保育園、児童センター、保育クラブ及び公園の詳細な放射線量測定を行い、基準値を超えた箇所の除染作業を行いました。

市がこれまでに測定した一般環境における空間放射線量は毎時 0.04～0.12 マイクロシーベルトの範囲内で、日常生活上、健康被害が懸念される数値ではありませんでした。しかし、上記の施設の詳細な測定と除染を行うなかで、雨どいの下や雨水ます付近などでホットスポットが確認される傾向があることがわかってきました。

このたび、市民のみなさまに安心して日常生活を送っていただくために、私有地等で特に高い放射線量が測定された場合の対応策をご紹介しますマニュアルを策定しましたので、参考にしてください。

1. ホットスポットになりやすい場所

雨水が流れる場所や雨水が狭い範囲に集まる場所で、高い放射線量を示す傾向にあります。

- （例）・雨どいの下（特に地中の埋設管に接続されず、地面に直接流れているような箇所）
- ・屋根から直接雨が落ちるところ
 - ・集水ますの上 など

2. 局所的に放射線量が高い箇所の目安(市の公共施設における基準)

- (1) 小学校・保育園・児童館・児童センター
 - ・・・地表面から50cmの高さで0.19 マイクロシーベルト/時間
- (2) 中学校・公園
 - ・・・地表面から1mの高さで0.19 マイクロシーベルト/時間
 - ただし、砂場や遊具など、子どもが長時間至近距離で接する可能性のある場所は、地表面で0.19 マイクロシーベルト/時間 としています。

3. 放射線量の測定

市では、市民のみなさまからのご要望に応じるため、申請にもとづき、市職員が訪問し、私有地等での放射線量測定を実施しています。測定後に測定結果表をお渡ししますので、その測定結果を、除染を行う際の参考にしてください。

測定の詳細については、市ホームページをご覧ください。環境課までお問い合わせください。

4. 除染作業の準備

(1) 除染作業時の服装

以下の装備を参考にして、作業内容や天候等の状況により判断します。通常の場合、重装備は必要ありません。土ぼこりがたつところではジョーロで水撒きをし、心配であればマスクをするなど、状況により判断します。

基本装備

長靴
布手袋（軍手等）
ゴム手袋
作業環境により、
長袖、長ズボン
服の上にする腕カバー
や足カバー
ぼうし
マスク
タオル など



水を扱う作業

（高圧水洗浄、ブラシ・
タワシでの洗浄等）
基本装備のほかに、
カップ（高圧水洗浄
作業は上下必須。そ
の他は下だけでも
可）
ゴーグル（めがね）
など



「生活空間における放射線量低減化対策に係る手引き」（福島県発行）から抜粋

(2) 除染作業で使用する用具類と資機材

掃除用具

ハンドショベル、草刈り鎌、ほうき、ちりとり、スコップ、ビニール製のゴミ袋（厚手のもの） など

水洗浄用具

ホース、シャワーノズル、高圧洗浄機、ブラシ（デッキブラシ、車洗浄用ブラシ、高所用ブラシ等）、タワシ（亀の子、スチールウール

製など) 水を押し流すもの(ほうき、スクレーパーなど) バケツ、雑巾 など

これらの用具はすべて必要というわけではなく、それぞれの作業環境に合わせて用意します。

5 除染の方法

(1) 原因別の低減作業

泥などの堆積物が原因の場合

はじめに、泥(泥に付着した落葉を含む)や土ぼこりなどを清掃により除去します。除去した物は、不透水性の袋(ビニール製のゴミ袋など)に入れます(破れを防ぐため、二重にすることをおすすめします)。

コンクリートなどの汚れが原因の場合

汚れが付着している箇所は、水をかけながら、ブラシやタワシで汚れを落とします。ただし、水を使って洗浄を行った場合は、放射性物質を含む排水が発生しますので、洗浄等による流出先への影響を極力避けるため、水による洗浄以外の方法で除去できる放射性物質はできるだけあらかじめ除去するなど、工夫を行います。

地表面が原因の場合

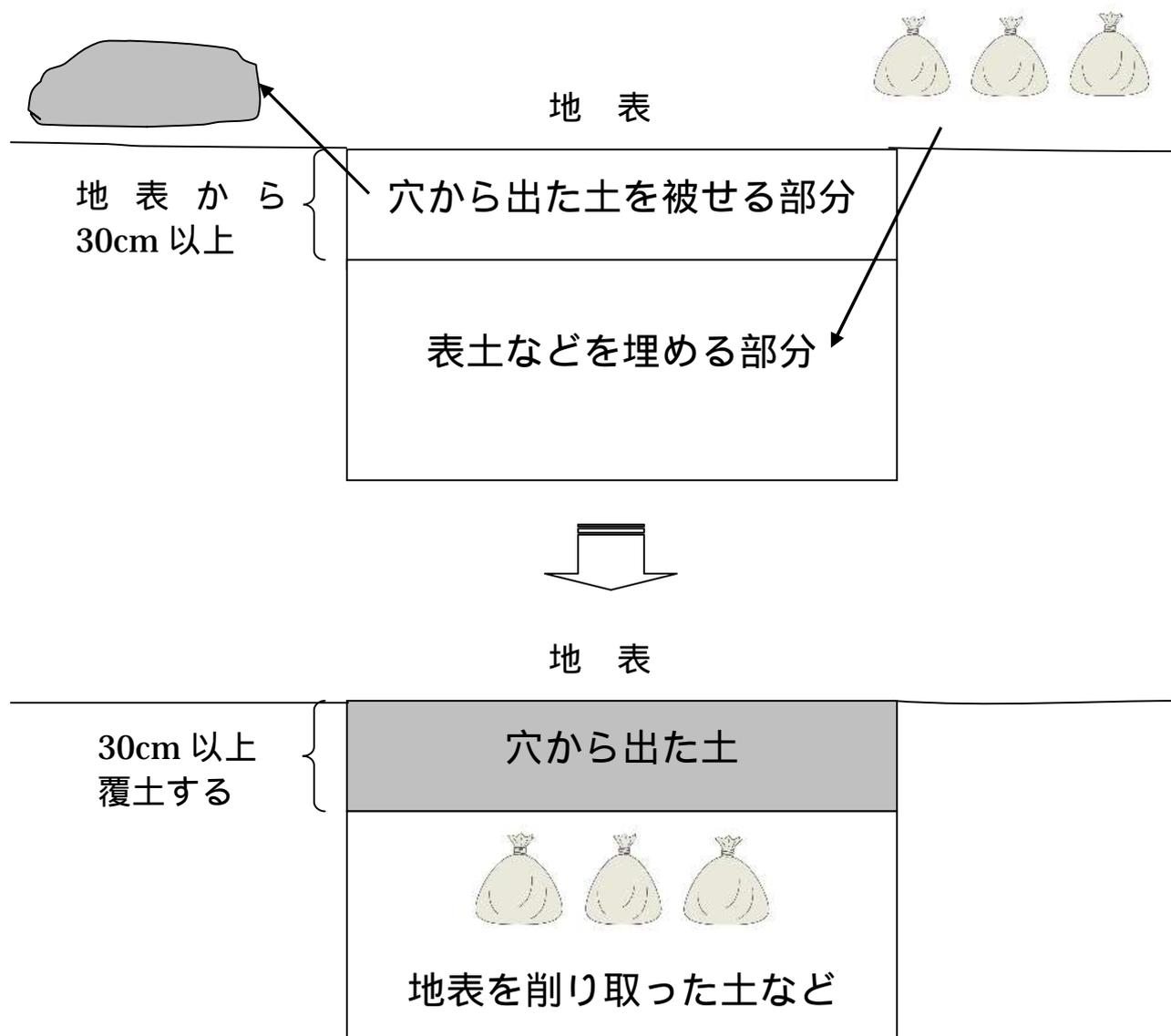
表土を5 cm 程度削って除去します。除去した土は、不透水性の袋(ビニール製のゴミ袋など)に入れます(破れを防ぐため、二重にすることをおすすめします)。

(2) 除去した土などの保管について

敷地内に、(1)で除去した土などを入れた袋よりも一回り大きな穴を掘り、この袋を入れ、30 cm の厚さになるように土で覆います(土による遮へい効果は、厚さ30 cm で98%とされています)。

このような穴を掘る場所がない場合は、容器に入れるなどし、敷地内のあまり人が立ち入らない場所に保管します。

< 除去した土などの保管方法イメージ図 >



(3) 除染作業後は

使用した道具は汚れを落とし、水で洗ってください。

作業後、屋内に入る際には、靴の泥をなるべく落とすとともに、服を着替えるなど、泥、ちり、ほこりなどを持ち込まないようにします。

服などは、除染後は速やかに洗濯をします。普通の洗濯で十分です。

作業後は、シャワーを浴びるなど手足、顔などの露出部分をよく洗い、うがいをしてください。

問い合わせ先

和光市市民環境部環境課

電話 048 - 464 - 1111 (代表)

直通 048 - 424 - 9118 (直通)